



惜春の候、皆様方には益々ご健勝のこととお喜び申し上げます。日頃は本校の教育にご理解とご協力を賜り、心からお礼を申し上げます。北中学校は、本年度、開校してから43年目を迎えます。この3年間、新型コロナウイルス感染拡大の影響により、人と人とのつながりが制限される日々が続きました。子どもたちの笑顔が見られるよう、徐々に回復に向けて取組を進めていきます。また、『生徒の心の居場所がある学校』を第一に、生徒一人ひとりの課題や心に寄り添いながら、チーム学校一丸となって取り組んで参りますので、どうぞご支援・ご協力の程よろしくお願い申し上げます。

### 「第43回 入学式」～新入生90名が入学～ **新たな中学校生活への期待を胸に**



4月6日(木)、暖かな春の陽ざしのもと、90名の新入生を迎え、第43回北中学校入学式が行われました。

新入生は、真新しいブレザーの制服に身を包み、学級担任に先導され体育館に入場しました。一人ひとり呼名されると、その場で起立し、大きなしっかりした返事が返ってきました。その後、新入生を代表して、薦原小学校出身の今西翔真さんから誓いの言葉がありました。

「これから私たちは、北中生としての自覚と責任をもち、周りの人への感謝と、思いやりの気持ちをもち続け、入学した今の気持ちを忘れることなく日々努力していくことをここに誓います。」と決意を述べました。

新型コロナウイルスの感染拡大防止のため、規模を縮小しての式となりましたが、新入生は少し緊張しながらも、決意新たに、新しく始まる中学生活に大きな期待を膨らませている様子が伝わってきました。

### 新入生が生徒会の仲間入り

4月7日(木)には、生徒会の対面式がおこなわれ、新入生を歓迎しました。4年ぶりに、全校生徒が体育館に入場し、新入生と在校生が対面した形でおこなわれました。生徒会本部役員が歓迎のことばを述べた後、体育館前のスクリーンに映し出された画像を使って、生徒会の5つの目標、各委員会の活動内容、本年度のテーマについて説明がありました。

10日(月)の部活動説明会では、各部活動から部活動の魅力や活動内容について実演を交えながらPRがありました。新入生は興味深く各部活動の様々な説明に熱心に耳を傾けていました。

新入生は、見学、体験期間を経て、21日(金)から正式に部活動の一員として活動を始めました。一日も早く中学校生活に慣れ、先輩たちとともに北中学校生の一員として活躍してくれることを期待しています。



## 令和5年度 学校教育目標と重点的な取組

### 学校教育目標

(國富 光輝さん遊書)

夢をもち、心豊かで、たくましく、生徒の育成  
感謝・感動・つながり。

本年度の学校教育目標の中に、「つながり」ということばを新たに加えました。コロナ禍で失われた人と人とのつながりを取り戻したいという思いを込めました。

目指す学校像の第一に、「生徒一人ひとりの心の居場所がある学校」を掲げました。目指す生徒像としては、「目標をもち、自ら学ぶ生徒」「自ら考え、自ら行動する生徒」「仲間とつながり、学び合う生徒」「心身ともに健康な生徒」としました。生徒の姿をよく観て、個々の課題や悩みに寄り添いながら、担任を中心に教職員がチームとなって指導・支援を進めていきます。教育相談をさらに充実させていきます。

日々の授業をはじめ学級活動、学校行事、生徒会活動の活性化を通じて、生徒同士のつながりと居場所づくりをさらに進めていきます。そして、最終的に生徒たちが、今の自分と周りの人に感謝する心を育み、自分たちの活動が感動を生み、人とのつながりの中で成長する取組を進めていきます。また、授業においては「つながりをつくるしかけを意識した実践の研究」をテーマに授業改善に取り組みます。

以上を踏まえながら、以下の3点を大切にしていきたいと思います。

1. わかる授業づくりと学習意欲の向上
2. 豊かな人間関係と居場所づくり
3. 生き方を学ぶ教育活動の充実



### コミュニティ・スクールを基盤とした小中一貫教育

北中学校では、令和2年11月に学校運営協議会が設置され、コミュニティ・スクールとなりました。学校と地域が目指す子ども像を共有し、ともに知恵を出し合いながら、協働する取組を進めています。本校の学校運営協議会では、学校運営委員が「学校運営部会」「学校支援部会」「地域連携部会」の3つの部会にわかれ、熟議を重ね取組を進めています。昨年度は、中庭の整備、夏季休業中の学習支援、太鼓体験の支援、地域の方との合同防災訓練、清掃活動などの取組をおこないました。本年度は、地域の方と生徒の話し合いの場をもち、目指す子ども像に向け取組をさらに前進させていきたいと思っております。

北中学校区では、北中学校と3つの小学校（美旗小学校、すずらん台小学校、薦原小学校）が、子どもたちの9年間の育ちや学びを見通した小中一貫教育の取組を進めています。年間3回、小中学校の教職員が合同で研修会をもち、グループに分かれて具体的な取組についての話し合いや実践の交流をおこなっています。

